

## 在セネガル日本国大使館月報

2024年4月

### 主な出来事

#### セネガル

##### (内政)

- 2日、ファイ新大統領は宣誓式にて、セネガルは正義と民主主義に基づいた希望の国になると宣言した。同日、大統領府に入り、サル前大統領との引き継ぎを行った。(3日 Le Soleil)
- 2日、ファイ大統領はウスマン・ソンコを首相に任命した。(3日 Le Soleil)
- 4日の独立記念日を前に、ファイ大統領は国民向けメッセージを発出した。そこで、若年層の教育と職業訓練を政策の優先課題に据えることを宣言した。(5日 Le Soleil)
- 5日、ファイ大統領の組閣が完了した。新内閣は25名の大臣と5名の国務長官により構成される。(6日 Le Soleil)

##### (外政)

- 18日、ファイ大統領は就任後初の外遊としてモーリタニアを訪問し、ガズワニ大統領と会談した。続いて20日、ガンビアを訪問し、バロウ大統領と会談した。(19日、21日 Le Soleil)

##### (日本関連)

- 29日、日本はババカール・セック前セネガル・日本職業訓練センター(CFPT)校長に対し、日本とアフリカの関係強化に多大な貢献をしたことを称え、旭日双光章を授与した。(30日 Le Soleil)

#### ガーボベルデ

- 5日、ネーヴェシュ大統領はマドリードにてサンチェス・スペイン首相と会談し、海水淡水化や漁業分野での協力、気候変動問題等について意見交換した。(5日 anacao)
- ガルシア・コレイア副首相は、カーボベルデをアフリカのテクノロジーの拠点にすべく、マイクロソフト社と事業合意を今年中に行うことを発表した。昨年、同社とデジタル分野での教育と起業に関する原則合意書を締結した経緯がある。(22日 balai CV)
- マカオを訪問中のガルシア・コレイア副首相は、マカオ行政区長と会談し、経済、観光、教育、中国の伝統医療、財政等について意見交換した。(25日 anacao)

#### ガンビア

- 2日、バロウ大統領はファイ・セネガル大統領の宣誓式に出席し、両国は一つの家族で民族であるため、良好な関係を継続していきたいとの見解を示した。(4日 The Point)
- 22日、ジャロウ在名古屋ガンビア共和国名誉総領事に対し、二国間関係に尽力したとの功績で在ガンビア日本国大使館外公館長表彰が授与された。(24日 The Point)

#### ギニアビサウ

- 中央アフリカ共和国の刑事裁判所が、ギニアビサウに亡命中のフランソワ・ボジゼ元中央アフリカ大統領に対して発行された国際逮捕状を公開したことを受け、30日、エンバロ大統領は同元大統領をAUの枠組みで受け入れるよう要請されており、身柄の引き渡しを認めないとの発言を行った。(5月1日 O Democrata)

・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。

## **セネガル**

### **(内政)**

#### **内政一般**

- 2日、ファイ新大統領は宣誓式にて、セネガルは正義と民主主義に基づいた希望の国になると宣言した。同日、大統領府に入り、サル前大統領との引き継ぎを行った。(3日 Le Soleil)
- 2日、ファイ大統領はウスマン・ソンコを首相に任命した。(3日 Le Soleil)
- 4日の独立記念日を前に、ファイ大統領は国民向けメッセージを発出した。そこで、若年層の教育と職業訓練を政策の優先課題に据えることを宣言した。(5日 Le Soleil)
- 5日、ファイ大統領の組閣が完了した。新内閣は25名の大臣と5名の国務長官により構成される。(6日 Le Soleil)
- 8日、カバ前首相はソンコ新首相に対する権限引渡を行った。(8日 APS)
- 9日、ファイ大統領は初の閣議を開催し、行政機関の組織と運営を見直すよう閣僚に指示した。(9日 APS)
- 15日、ファイ大統領はトゥーバ市のムリッド教団総カリフを表敬訪問し、同市の治水と洪水対策について議論した。(15日 APS)
- 16日、セネガル海軍向けにフランスで建造された遠洋哨戒艦 Cayor がフランスを出航した。2019年11月に3隻の哨戒艦の取得契約が結ばれ、今回の引渡はその1隻目となる。(17日 Walf Quotidien)

### **(外政)**

#### **二国間・多国間関係**

- 1日、プリンケン米国務長官は、バシル・ジョマイ・ファイ次期大統領とオンライン会談を開催し、選挙が平和裏に実施され、同氏が当選したことを祝うとともに、両国のパートナー関係の強化について議論した。(1日 APS)
- ノルウェー政府は2024年秋に在セネガル大使館を開設し、ブルキナファソ、マリ、モーリタニア、ニジェール、チャドを兼轄することを公表した。(12日 APS)
- 16日、サル前大統領は、地球市民のためのパリ協定(4P)の特使及びフォローアップ委員会の会長としてグテレス国連事務総長と国連本部で会談した。(17日 Le Soleil)
- 18日、ファイ大統領は就任後初の外遊としてモーリタニアを訪問し、ガズワニ大統領と会談した。続いて20日、ガンビアを訪問し、バロウ大統領と会談した。(19日、21日 Le Soleil)
- 22日、ファイ大統領は、シャルル・ミシエル欧州理事会議長と会談し、エネルギー、水、農業、保健、運輸、デジタル、若者の雇用等の分野におけるセネガルとEUの協力関係について議論した。(23日 大統領府 X、24日 Le Soleil)
- 22日、ソンコ首相はシエラレオネのジャロウ副大統領を迎え、鉱山開発、食料主権、安全保障、科学研究、教育等について議論した。(23日 Le Soleil)
- 30日、ファイ大統領はビニアビサウを訪問し、エンバロ大統領と農業、漁業、職上訓練、貧困対策等について協議した。(5月2日 Le Soleil)

#### **日本関連**

- 12日、能楽師の大倉正之介氏はセネガル太鼓奏者のラティール・シィ氏とともに、日本大使公邸にて

音楽イベントを開催した。(13日 APS)

- 29日、日本はババカール・セック前セネガル・日本職業訓練センター(CFPT)校長に対し、日本とアフリカの関係強化に多大な貢献をしたことを称え、旭日双光章を授与した。(30日 Le Soleil)

## (経済)

### 経済一般

- 労働・社会保障総局は、「数値で見る労働」と題する報告書を公表し、2023年に2012の企業・団体が設立され、61,036件の雇用を創出したとした。2022年はそれぞれ1,742団体、72,268件。(30日 Le Soleil)

## (社会)

- 保健分野の研究者による国際調査により、過去20年でセネガルの妊婦・新生児・幼児の死亡率が70%低下したことが明らかになった。(19日 Le Soleil)
- 22日、ジュフ高等教育大臣は、ダカール大学(UCAD)のンバイ学長を訪問し、学事歴や予算等の大学運営について協議した。(23日 Le Soleil)

## (文化・スポーツ)

- 4日、国際サッカー連盟(FIFA)は、FIFA世界ランキング(男子)を発表し、セネガルは17位(日本は18位)に位置づけられた。(5日 Sud Quotidien)

## カーボベルデ

- 3日、国立統計研究所は2023年の観光動態調査を公表した。同国全体のホテルの宿泊客数は約101万人、約510泊に達した(それぞれ前年比で約21%、26%増)。(5日 anacao)
- 5日、ネーヴェシュ大統領はマドリードにてサンチェス・スペイン首相と会談し、海水淡水化や漁業分野での協力、気候変動問題等について意見交換した。(5日 anacao)
- 国立統計研究所は、2023年のカーボベルデの経済成長率が5.1%を記録したことを発表した(政府の事前予想は5.7%)。(5日 terranova)
- 11日、政府は公共・民間セクターの情報通信技術者に対し、エネルギー分野へのサイバー攻撃に対する能力向上を目的とする講習会を実施した。(11日 Expresso das Ilhas)
- 12日、電気自動車普及プロジェクトの調整官は、カーボベルデで20の充電スタンドが設置されたことを公表し、6月までに全土で合計40スタンドを設置するとの計画を示した。(12日 balai CV)
- コレイア・エ・シルヴァ首相は、15-17日にギリシャで開催された国際会議第9回「我々の海」に参加した。(15日 Expresso das Ilhas)
- ミンデロ島当局は、中国の海洋探査船を迎えた。同船は、海洋の持続可能な利用に向けた海洋学的調査を行う。(17日 ミンデロ島当局Facebook)
- 21-23日にマカオで開催される中国・ポルトガル語圏諸国経済・貿易協力フォーラムにカーボベルデの経済関係者が出席することが公表された。(18日 balai CV)
- IMFは世界経済見通しに関する報告において、今年のカーボベルデの経済成長が4.7%になるとの予想を示した。(18日 balai CV)
- ガルシア・コレイア副首相は、カーボベルデをアフリカのテクノロジーの拠点にすべく、マイクロソフト社と事業合意を今年中に行うことを発表した。昨年、同社とデジタル分野での教育と起業に関する原則

合意書を締結した経緯がある。(22日 balai CV)

- マカオを訪問中のガルシア・コレイア副首相は、マカオ行政区長と会談し、経済、観光、教育、中国の伝統医療、財政等について意見交換した。(25日 anacao)
- 国際パラリンピック委員会のパーソンズ会長が29日から4日間の予定でカーボベルデを訪問し、パラリンピック競技の促進について協議することが公表された。(25日 Expresso das Ilhas)

## **ガンビア**

- 4日、シラ運輸工事大臣は、5月4-5日に首都バンジュールにて開催されるイスラム協力機構の首脳会議に向けて、道路整備が工期どおりに進展していることを語った。(4日 The Point)
- 2日、バロウ大統領はファイ・セネガル大統領の宣誓式に出席し、両国は一つの家族で民族であるため、良好な関係を継続していきたいとの見解を示した。(4日 The Point)
- 13日、ジャロウ副大統領は、ガンビアで開催予定のイスラム協力機構の首脳会議に向け、国際空港と国際会議場の事前視察を行った。(15日 The Point)
- 17日、ケイタ財務大臣は、2016年から2023年にかけて、公的債務残高が463億ダラシ(約1,050億円)から1,106億ダラシ(約2,500億円)に増加したことを明らかにした。(17日 The Point)
- 国際刑事警察機構、EU及びガンビア当局は、犯罪を抑制すべく、西アフリカ警察情報システム強化プログラムの一環で指紋自動認証システムの導入を開始した。(18日 The Point)
- 19日、世界銀行からの資金援助を受けた国家水電気会社(NAWEC)は、298以上のコミュニティにECOREAPと呼ばれる電気を供給する事業(6,600万米ドル)の開始式典を開催した。(22日 The Point)
- 22日、ジャロウ在名古屋ガンビア共和国名誉総領事に対し、二国間関係に尽力したとの功績で在ガンビア日本国大使館外公館長表彰が授与された。(24日 The Point)
- 国立芸術・文化センター(観光・文化省所管)のシーゼイ局長は、5月4-5日に開催されるイスラム協力機構の首脳会議を機に、参加者に対しガンビアの文化遺産を案内する準備が整ったことを公表した。(29日 The Point)

## **ギニアビサウ**

- 駐ギニアビサウ中国大使は、同国のカシューナッツとその他の製品を中国向けに輸出する協定を結ぶことを検討している旨公表した。(4日 O Democrata)
- 8日、エンバロ大統領は、ケニアのルト大統領を迎え、地域紛争の情勢や両国間関係の強化について協議した。(8日 DW)
- IMFは世界経済見通しに関する報告において、ギニアビサウとモザンビークがポルトガル語圏アフリカの中で2024年に勢いよく経済成長し、成長率は5%に達するとの見方を示した。(16日 O Democrata)
- 18日、政府は特別会合を開催し、ギニアビサウ人の主食である米の販売価格引き下げを目的とした補助金を廃止することを決定した。これにより今後米の価格が上昇することが予想される。(19日 DW)
- 22日に公表された米務省2023年人権報告書は、同年のギニアビサウの人権状況は前年から改

善が見られなかったと報告した。(23日 voa portugues)

- 24日、マカオを訪問中のサンブ経済大臣は、マカオ行政区長と会談し、産業化、人材育成等の分野における協力促進について議論した。(24日 Radio voz do povo)
- 中央アフリカ共和国の刑事裁判所が、ギニアビサウに亡命中のフランソワ・ボジゼ元中央アフリカ大統領に対して発行された国際逮捕状を公開したことを受け、30日、エンバロ大統領は同元大統領をAUの枠組みで受け入れるよう要請されており、身柄の引き渡しを認めないとの発言を行った。(5月1日 O Democrata)

(注)本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)